

岩手県感染症週報

令和2年第16週（4月13日～4月19日）

岩手県感染症情報センター

第16週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が1例ありました。潜在性結核感染症でした。
- 3 類感染症 ・腸管出血性大腸菌感染症の報告が大船渡地区から1例ありました。患者は60歳代の女性です。
- 4 類感染症 ・E型肝炎の報告が一関地区から1例ありました。患者は60歳代の男性です。
・レジオネラ症の報告が宮古地区から1例ありました。患者は60歳代の男性です。
- 5 類感染症（全数把握対象疾患） ・梅毒の報告が盛岡市から1例ありました。患者は50歳代の男性です。
・百日咳の報告が奥州地区から1例ありました。患者は60歳代の男性です。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・感染性胃腸炎は前週より増加しました。患者の吐物や便は塩素系薬剤を用いた適切な処理が重要です。

指定感染症

- ・新型コロナウイルス感染症の県の対応を、岩手県ホームページに掲載しています。発熱等の風邪症状がある場合は出勤や外出を控えること、感染が疑われる症状が出た場合には保健所に相談してから医療機関を受診することが、感染を拡大させないために重要です。

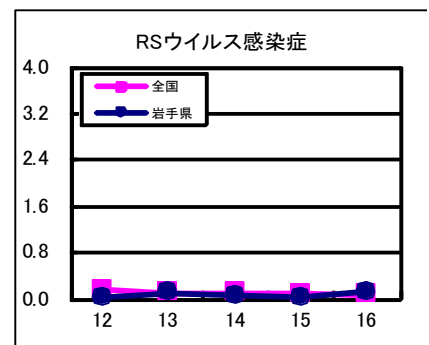
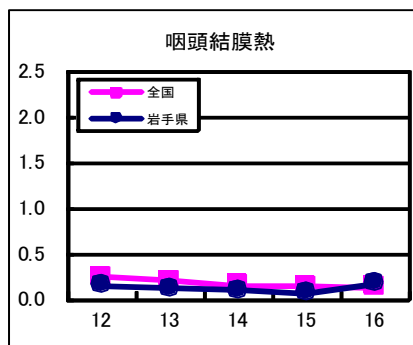
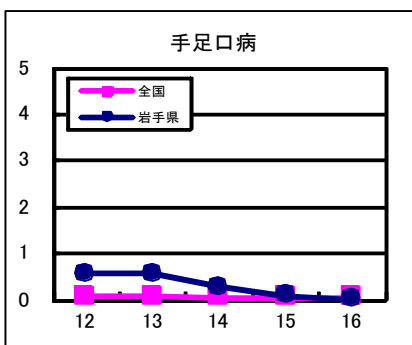
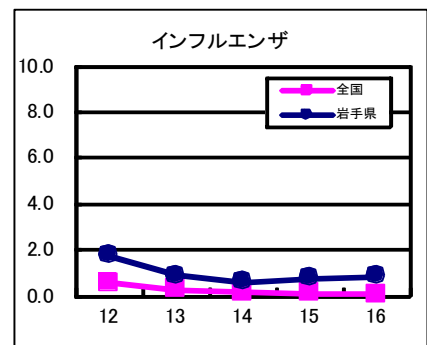
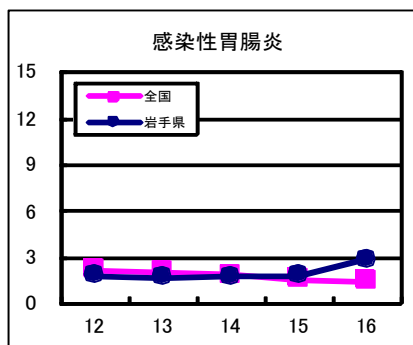
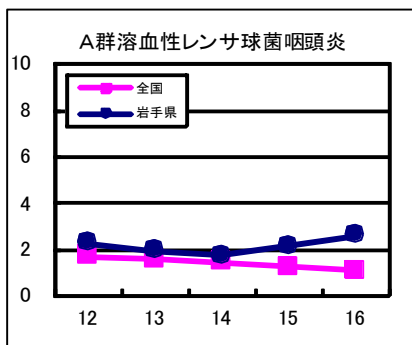
新型コロナウイルス感染症に関する情報<岩手県>（各保健所の連絡先）

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyuu/iryuu/kenkou/jouhou/1026260.html>

- ・県は、旅行や帰省により都道府県をまたいで人が移動すること、県外から来た方は2週間の平日夜間や週末の外出について、いずれも不要不急のものは控えるよう呼びかけています。特に、繁華街の接客を伴う飲食店等への外出を自粛の対象としています。
- ・感染症予防には、手洗いと咳エチケットにより手指の汚染と病原体の飛散を防ぐことが重要です。さらに、感染リスクの高まる密閉・密集・密接を避けること、病原体を体内に取り込まないよう顔の周りは不用意に触らないよう注意してください。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

※2018年1月1日より百日咳が5類感染症 (定点把握疾患) から5類感染症 (全数把握疾患) へ変更されました。
 ※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾患となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		12	13	14	15	16		
インフルエンザ	岩手県	1.74	0.88	0.58	0.77	0.86	→	☆
	全国	0.54	0.27	0.15	0.09	0.05		
RSウイルス感染症	岩手県	0.02	0.10	0.05	0.02	0.12	→	☆
	全国	0.16	0.11	0.11	0.09	0.08		
咽頭結膜熱	岩手県	0.15	0.12	0.10	0.07	0.17	→	☆
	全国	0.25	0.20	0.15	0.14	0.13		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	2.29	1.95	1.76	2.15	2.61	↗	☆
	全国	1.72	1.59	1.47	1.26	1.09		
感染性胃腸炎	岩手県	1.85	1.73	1.80	1.83	2.90	↗	☆
	全国	2.20	2.10	1.87	1.61	1.48		
水痘	岩手県	0.44	0.29	0.02	0.15	0.10	→	☆
	全国	0.26	0.24	0.20	0.17	0.15		
手足口病	岩手県	0.56	0.56	0.27	0.10	0.02	→	
	全国	0.08	0.07	0.06	0.05	0.05		
伝染性紅斑	岩手県	0.17	0.27	0.07	0.10	0.12	→	☆
	全国	0.21	0.22	0.17	0.16	0.12		
突発性発疹	岩手県	0.32	0.27	0.29	0.27	0.24	→	☆
	全国	0.29	0.29	0.32	0.34	0.32		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.03	0.02		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.02	0.07	0.05	0.00	0.02	→	
	全国	0.05	0.05	0.04	0.04	0.05		
急性出血性結膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.21	0.21	0.71	0.57	0.14	→	☆
	全国	0.26	0.31	0.26	0.23	0.19		
細菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.01	0.02	0.03	0.01	0.03		
無菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.11	0.00	0.16	0.16	0.21	→	☆
	全国	0.24	0.21	0.22	0.23	0.18		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	1	0	1	2	3		
	全国	25	24	11	11	9		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※ジカウイルス感染症が2016年2月15日から四類感染症に追加されました。

(患者発生数)

分類	疾病名	(週)					累計	全国	
		12	13	14	15	16		16	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	4 (3)	2 (1)	1 (1)	2 (1)	1 (1)	33 (18)	210	5027
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	1	39
	腸管出血性大腸菌感染症	2	1	0	0	1	4	22	308
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	13
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	6
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	1	1	13	187
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	1	1	46
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	1	7
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	3
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	1
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	0	9
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	3
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	2	61
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	40
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	3	15
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	10	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	2	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	1	0	1	1	3	22	416	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 12	13	14	15	16	累計 16	累計	
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	1	0	2	10	188
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	6	78
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	0	0	1	7	428
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0	0	9
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	0	5	246
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	0	0	0	1	0	35
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	0	0	0	4	7	276
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	2	6	274
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	13
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	2	2	125
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	10
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	1	0	0	0	5	18	774
	水痘 (入院例)	0	0	0	0	0	0	2	115
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	梅毒	0	0	0	0	1	3	45	1571
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	0	33
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	26
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	40
百日咳	1	0	0	0	1	11	38	2217	
風しん	0	0	0	0	0	0	1	76	
麻しん	0	0	0	0	0	0	0	10	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	2	
※ 新型コロナウイルス感染症	-	0	0	0	0	0	2913	10729	

※指定感染症として新型コロナウイルス感染症 (令和2年2月1日～)

今注目の感染症

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は細菌やウイルス、寄生虫など多種多様な原因によっておこる胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年では、流行の前半ではノロウイルスが、後半ではロタウイルスが患者から多く検出されています。

例年、感染性胃腸炎の報告数は、12月～2月頃が一番多いですが、6月頃まで報告が多い状態が続くこともあり、今後の発生の動向に注意が必要です。

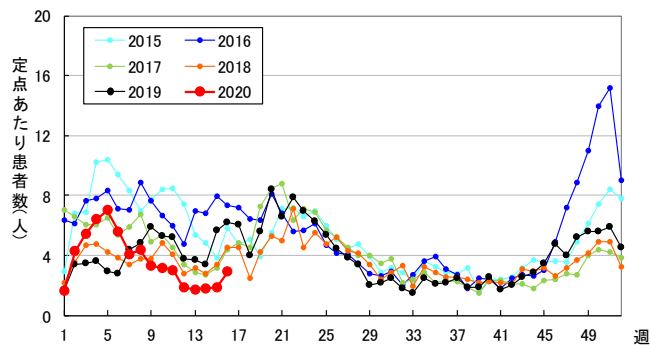
【参考】・ノロウイルスに関するQ&A (厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

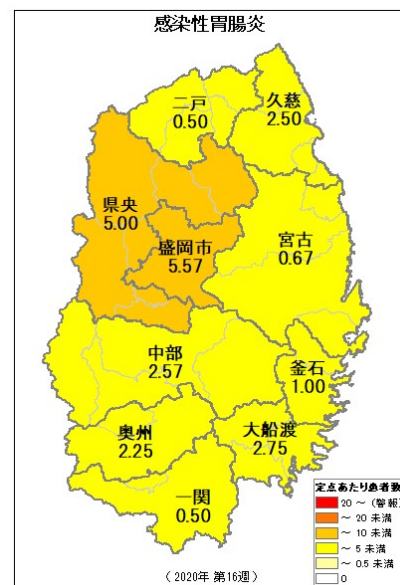
・感染性胃腸炎とは (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/383-intestinal-intro.html>

感染性胃腸炎、岩手県 (2015-2020)



岩手県における感染性胃腸炎週別患者報告数 (2015年～2020年第15週)



第16週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報 (行政区域データ)」をもとに岩手県が編集・加工した。
※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用した。(承認番号 平29情使、第675号)

今注目の感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は、コロナウイルス科ベータコロナウイルス属の新型コロナウイルス※1による急性呼吸器症候群です。2020年2月1日に指定感染症※2となりました。

「中華人民共和国（以下、中国）湖北省武漢市保健衛生委員会によると、2019年12月以降、同市で原因不明の肺炎患者が発生しており、2020年1月7日には中国当局が新種のコロナウイルスを検出した。」と世界保健機構（WHO）が発表しました。

また、WHOは、2020年1月31日に、新型コロナウイルス感染症の発生状況について「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC：Public Health Emergency of International Concern）」を宣言し、同3月11日には、「パンデミックといえる」との認識を示しました。

日本国内では、都市部を中心に感染者数が急増し、医療体制がひっ迫しつつある地域が出てきている状況を鑑み、同4月7日に7都府県を、16日には全都道府県を対象に緊急事態宣言が発出されています。

岩手県は、他の都道府県との往来および他県からの帰県・来県後2週間の平日夜間や週末の外出について、不要不急の場合は控えるよう慎重な行動を呼び掛けています。同4月23日現在、岩手県での届出はありませんが、「感染未確認地域」においても、「3つの密」（換気の悪い密閉空間、人が密集している、近距離での会話や発声が行われる）を、徹底して避けることが求められています。今までと同様に、咳エチケットや手洗いなど普段からの感染症対策に努めていただくとともに、「3つの密」を避けるようお願いいたします。

また、岩手県では、各保健所及び県庁医療政策室に、電話相談窓口として「帰国者・接触者相談センター」を設置しています。次の症状がある方は、ご相談ください。

- ・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。
- ・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方。

※高齢者や基礎疾患のある方は、上の症状が2日程度続く場合。また、妊婦の方は早めにご相談ください。

詳しくは岩手県の新型コロナウイルス感染症のホームページへ↓

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/kenkou/jouhou/1026260.html>

新型コロナウイルス感染症の最新情報については、厚生労働省及び国立感染症研究所のホームページで随時更新されています。ご確認をお願いいたします。

◇参考 新型コロナウイルス感染症について－厚生労働省－

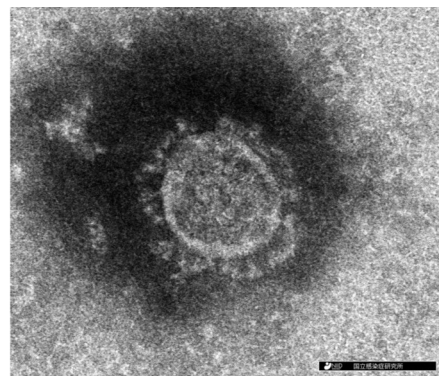
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

新型コロナウイルス（2019-nCoV）関連情報について－国立感染症研究所－

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/9324-2019-ncov.html>

※1 新型コロナウイルス：ベータコロナウイルス属のコロナウイルスで令和二年一月に中国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限りま。

※2 指定感染症：感染症法で規定された2類感染症と同等の措置（感染拡大に防止に必要な保健所長による入院措置や就業制限など）が可能となります。



今注目の感染症 (つづき)

インフルエンザ

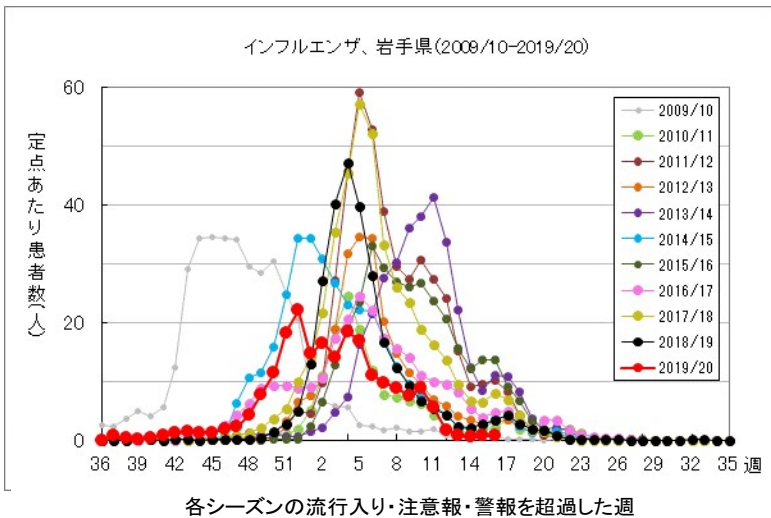
インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられます。潜伏期間は1日～3日程で、38℃以上の発熱、頭痛、筋肉痛、関節痛などの症状が突然現れ、鼻水や咳などの呼吸器症状が続きます。

岩手県では、例年、11月下旬から12月上旬頃に発生が始まり、1月から3月頃に患者数が増加します。今シーズンは第42週に流行入りし、第50週には季節性インフルエンザでは過去10年で2番目に早く注意報が発令されました。県環境保健研究センターで実施したウイルス検査ではA(H1N1)pdm09亜型が多く検出されていましたが、A(H3N2)亜型及びB型(Victoria系統)も検出されています。現在、医療機関で実施したキットの結果では、B型が多くなっています。

主な感染経路は咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、飛沫の付着物に触れた手指などを介した接触感染です。予防には、咳エチケット(有症者自身がマスクを着用する、咳やくしゃみの際はティッシュやハンカチで口や鼻をおさえる)による飛沫感染対策と、手洗いによる接触感染対策の他、ワクチン接種が効果的です。ワクチンによる予防効果が現れるまでには2週間程度かかるため、流行前の早めの接種が勧められます。接種を希望される方は事前に医療機関にお問い合わせください。

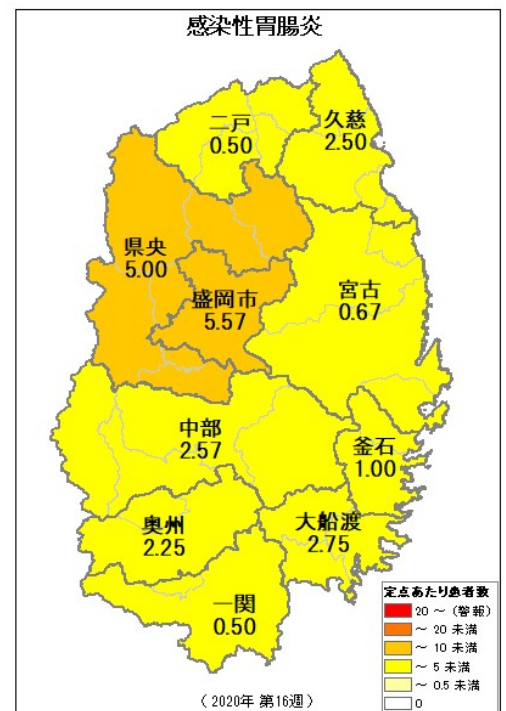
【参考】

- ・インフルエンザとは(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/219-about-flu.html>
- ・インフルエンザ ～総合ページ～(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infulenza/index.html
- ・インフルエンザ ～疫学情報～(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/flu.html>



シーズン	流行入り	注意報発令	警報発令	ピーク	定点あたり患者数
	定点あたり患者数	定点あたり患者数	定点あたり患者数		
2011/2012	51 1.0人	3 10.0人	5 30.0人	5	58.98
2012/2013	50	2	4	5	34.58
2013/2014	48	5	8	11	41.28
2014/2015	47	48	52	1	34.30
2015/2016	1	3	6	6	32.88
2016/2017	45	2	-	5	24.45
2017/2018	48	1	3	5	56.98
2018/2019	50	1	3	4	47.11
2019/2020	42	50			

※2009/2010シーズンは新型インフルエンザ



第16週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報(行政区域データ)」をもとに岩手県が編集・加工した。
※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用した。(承認番号 平29情使、第675号)

今注目の感染症（つづき）

風しん

風しんは、風しんウイルスによって引き起こされる、発熱、発疹、リンパ節の腫脹を特徴とする急性の発疹性感染症です。風しんウイルスは、患者の飛沫（唾液のしぶき）などによりヒトからヒトへ感染します。潜伏期間は2週間程度で、発疹が出る前後1週間位がヒトへの感染力があるとされています。風しんに免疫を持たない妊婦の方が妊娠第20週頃までに感染すると、「先天性風しん症候群」という目や心臓、耳などに障害を持つ子供が生まれる可能性があり、妊婦への感染を防止することが重要です。

全国では、2018年第30週以降、関東地方で報告数が大幅に増加し、2018年の累積報告数は2,946人、2019年の累積報告数は2,306人と全国流行があった2013年（14,348人）に次いで2番目と3番目に多い報告数となりました。2020年は第15週までに75人が報告されています。男性の報告数（57人）が女性の報告数（18人）の約3.2倍となっており、今回の流行は、風しんの抗体を保有していない30～50代の男性で感染が拡大しているとみられます。

岩手県では、全数把握疾患となった2008年以降、2020年第16週までに23人が報告されています。全国流行があった2013年には9人の報告がありました。

予防にはワクチン接種が最も効果的です。2回の定期予防接種（1歳児と小学校入学前1年間）を徹底しましょう。また、2021年度末までの期間に限り、これまで風しんの定期接種を受ける機会のなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性（現在39～56歳）が定期予防接種の対象者として追加されました（図3）。また、妊婦への感染を防止するため、予防接種歴や抗体陽性が確認できない「妊婦の夫、子どもや同居家族」、「妊娠希望者や妊娠の可能性が高い女性」の方は、任意で予防接種を受けることが推奨されます。

【参考】・風疹とは（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/430-rubella-intro.html>

・風疹急増に関する疫学情報：2020年4月15日現在（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/rubella/2020/rubella200415.pdf>

・先天性風しん症候群（CRS）の報告：2020年1月22日現在（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella-m-111/700-idsc/8588-rubella-crs.html>

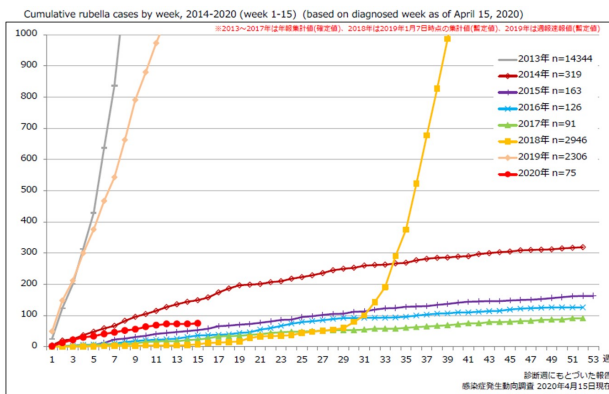


図1 全国における風しん累積報告数の推移（2013～2020年第15週）（国立感染症研究所HPより）

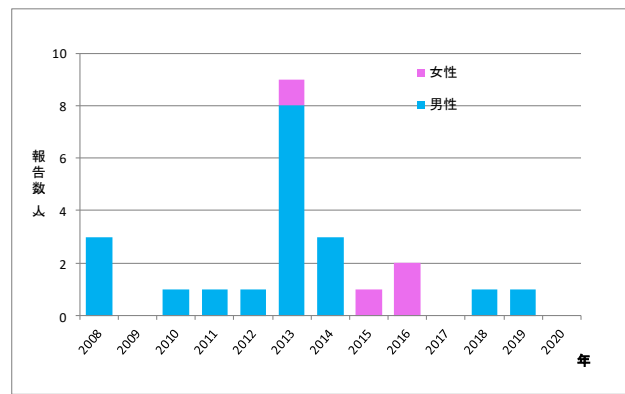
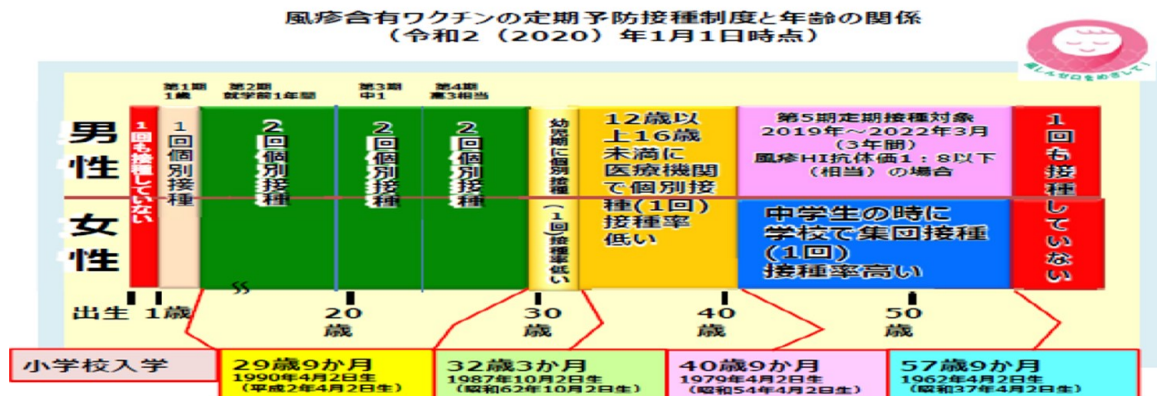


図2 岩手県における年別・性別風しん報告数（2008～2020年第16週）

図3



集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について

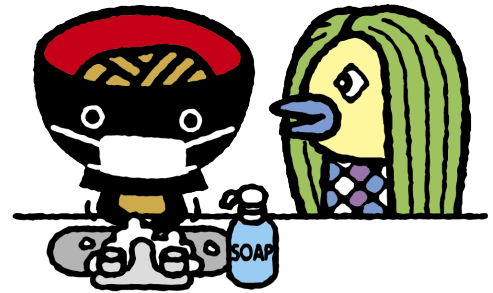
- ・八幡平市内の認定こども園（園児93名、職員19名）
4月8日（木）から4月11（土）にかけて、園児19名に症状（嘔吐、下痢等）
有症者5名からノロウイルスを検出
- ・滝沢市内の保育所（園児134名、職員40名）
4月8日（木）から4月14日（火）にかけて、園児19名、職員4名に症状（嘔吐、下痢等）
有症者7名からノロウイルスを検出

○インフルエンザによる学校等の休業措置について（4月17日から4月23日発表分）

- ・岩手県 0件（盛岡市を除く）
 - ・盛岡市 0件
- 詳細は岩手県医療政策室のホームページを御覧ください。

病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありません。



医療機関からの情報

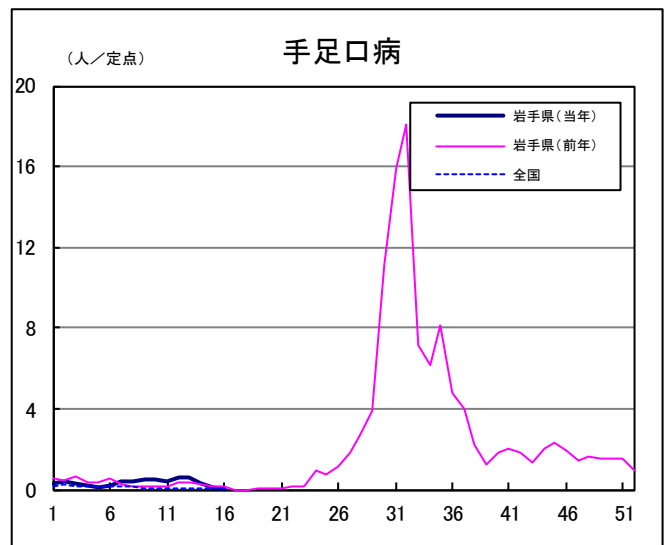
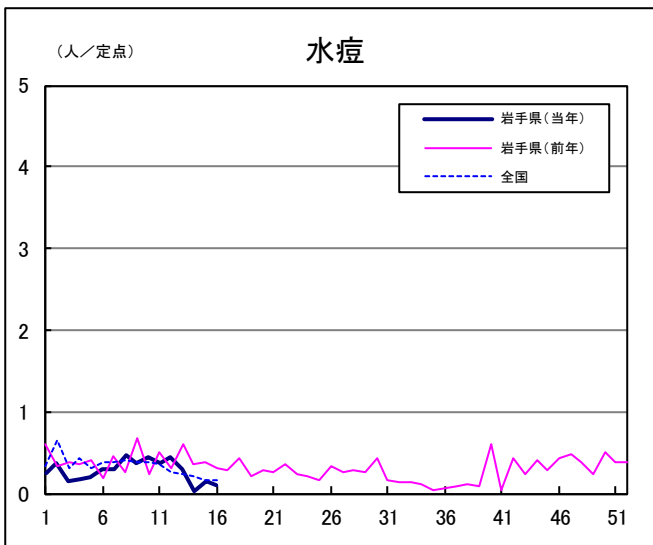
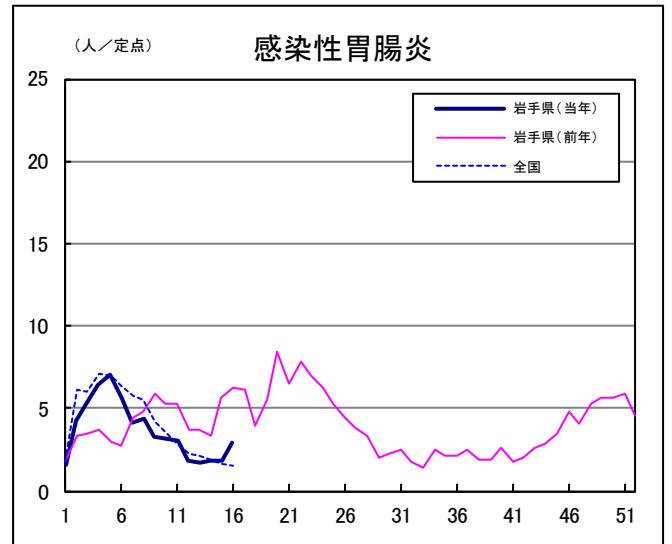
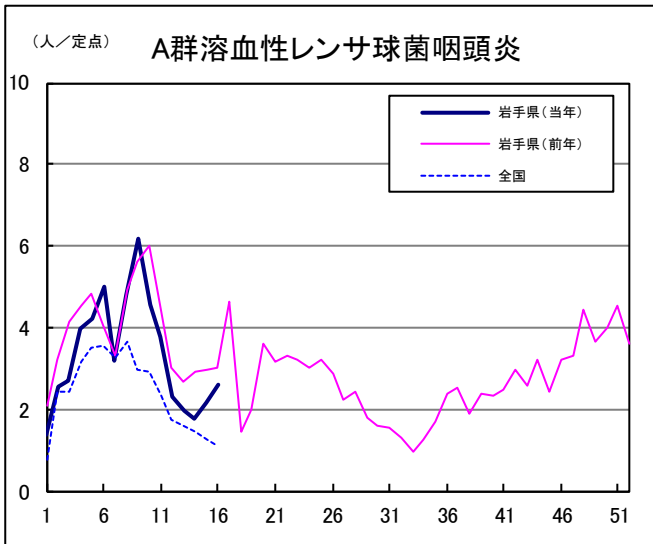
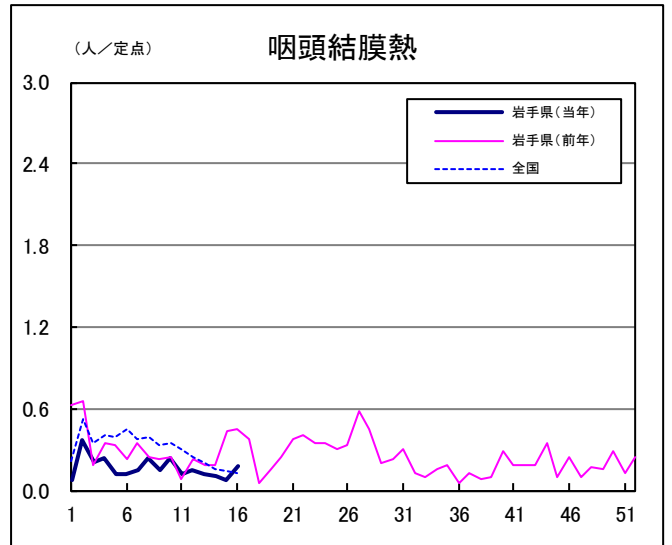
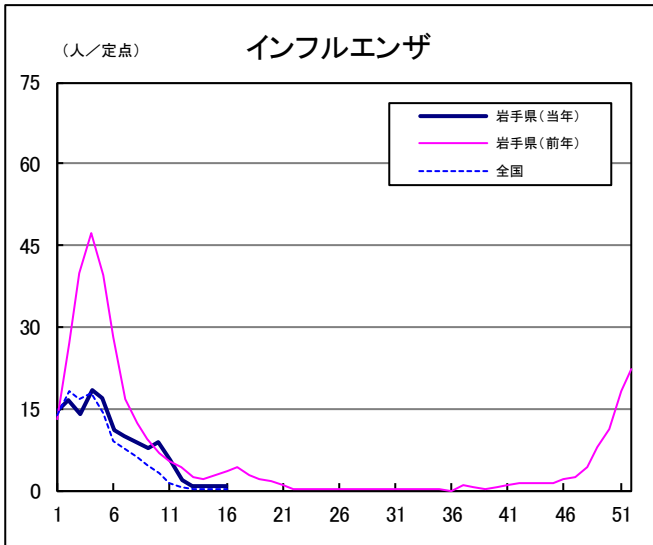
- ・この週には医療機関からの情報ははありません。

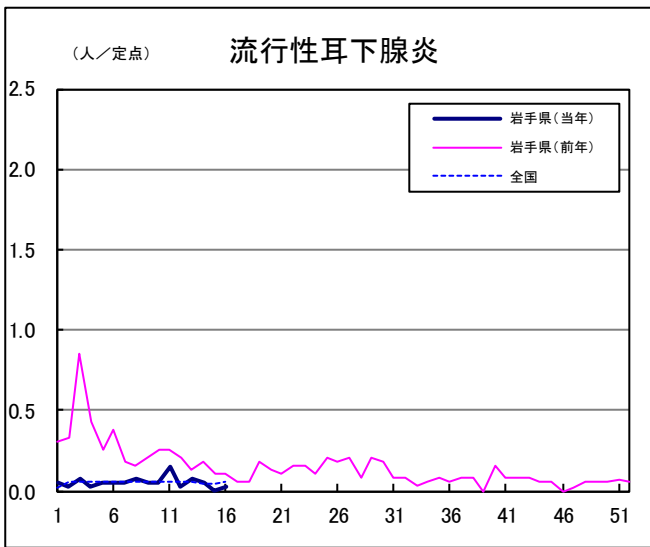
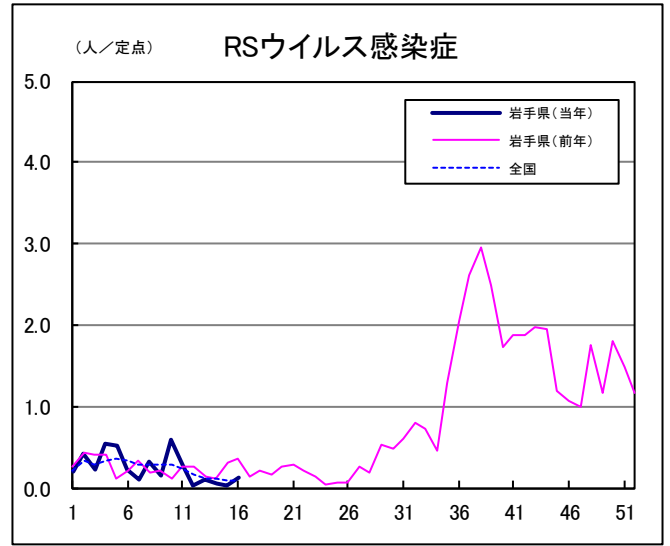
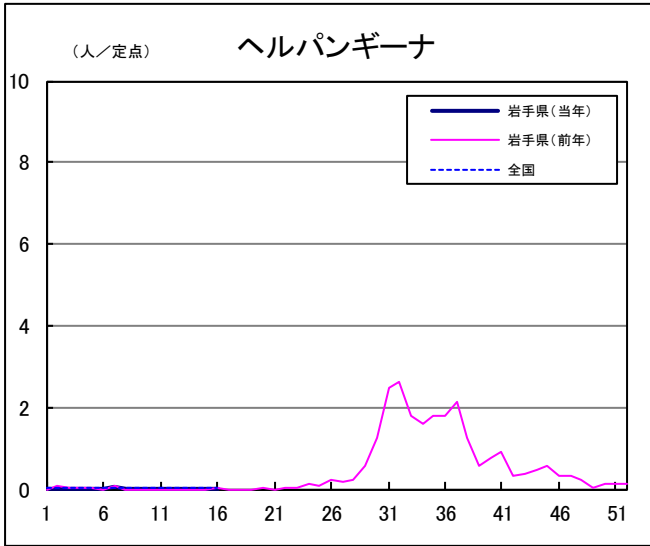
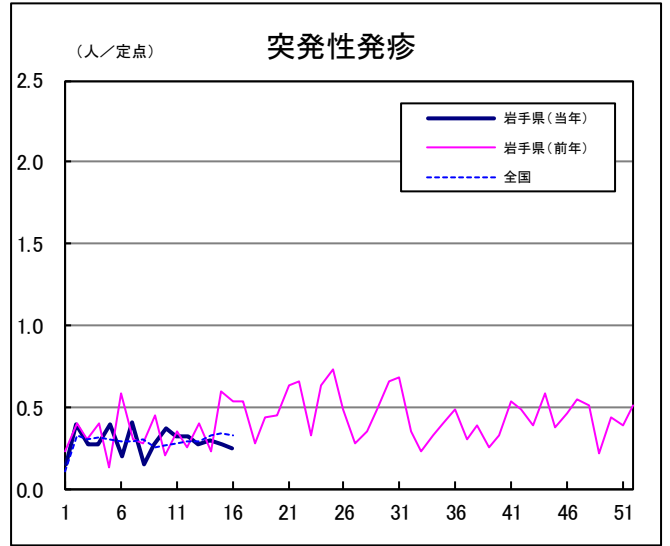
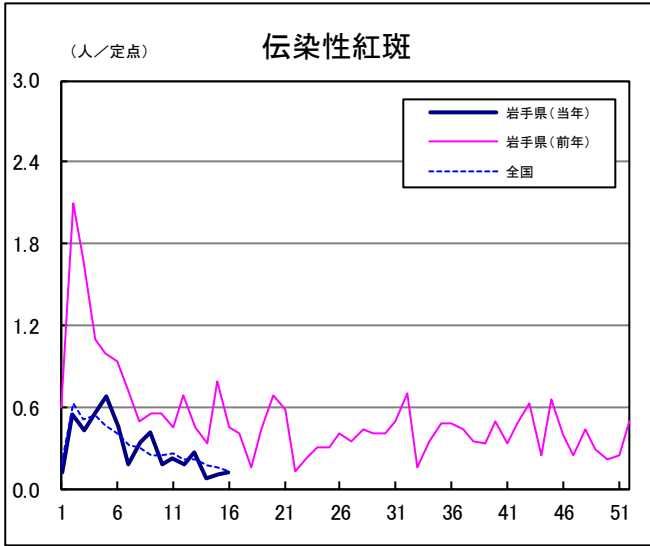
Q & A

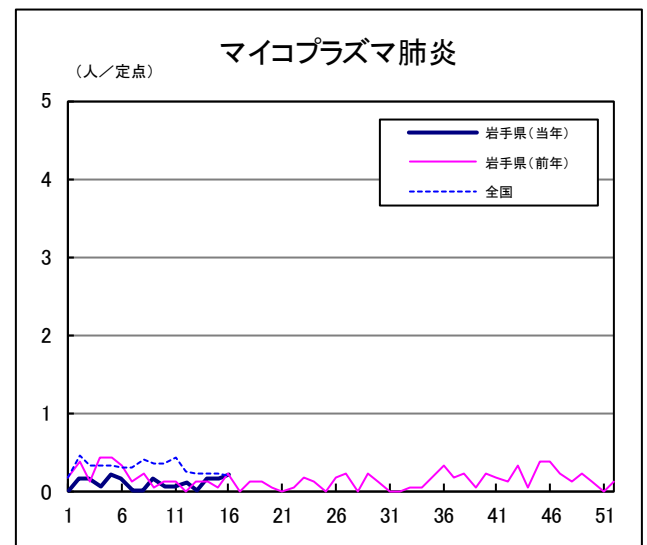
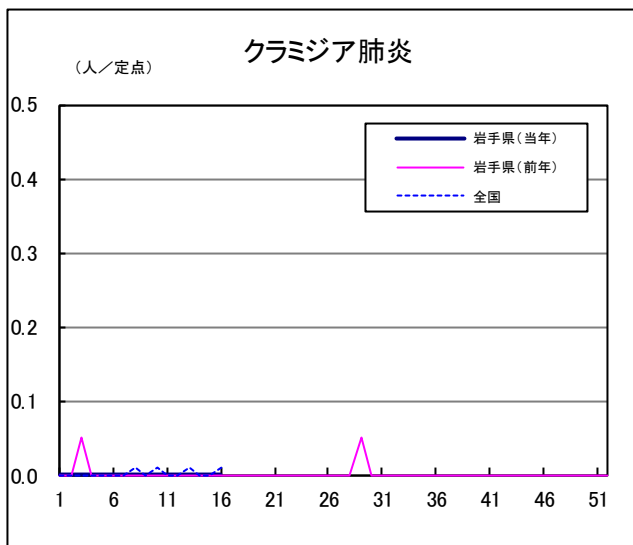
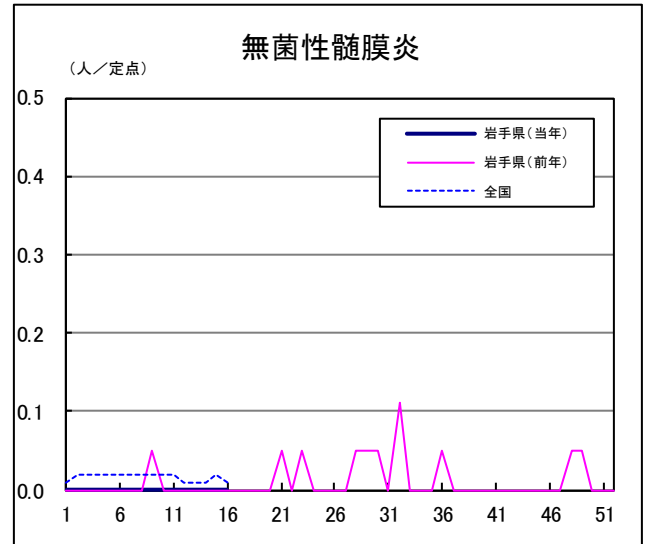
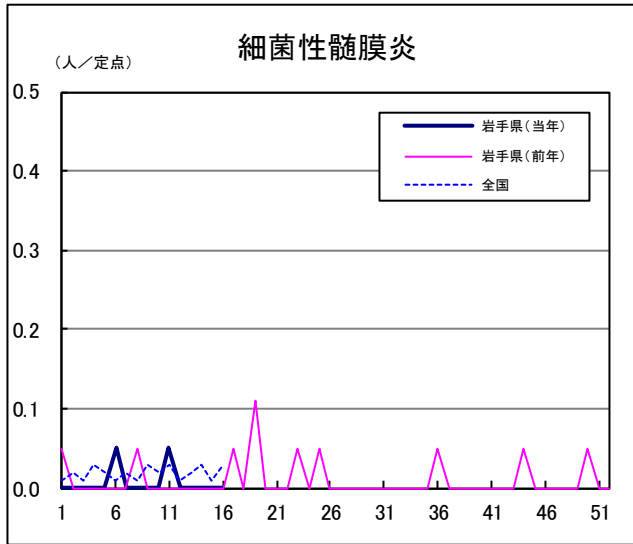
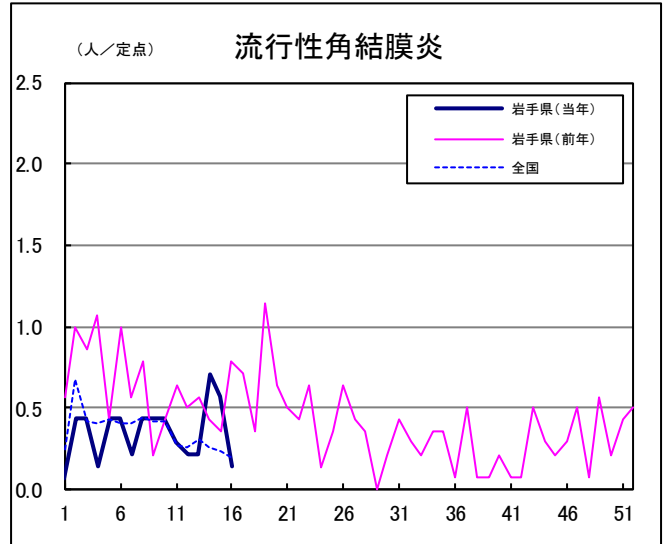
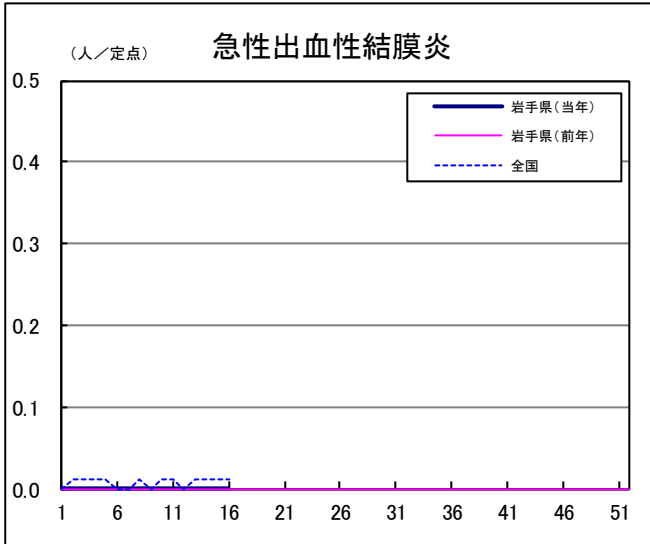
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別	インフル エンザ	小児科 定点	眼科定点	基幹定点
岩手県		66	41	14	19
盛岡市		11	7	3	4
県央		9	6	2	1
中部		12	7	2	4
奥州		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		6	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 令和2年第16週 令和2年4月24日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<https://www.pref.iwate.jp/soshiki/hofuku/1016013.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>